

TMSデータ配信及び仕様

◎命名規則について

タイルの画像ファイルのURLは以下のように命名します。

`http://sample.com/tms/sakai/1.0.0/meiji/0/0/0.png`

これを分析すると次のようになります。

- `http://sample.com/tms/`
ルートURLです。
- `sakai/`
データIDです。
- `1.0.0/`
TMSバージョン名です。
- `meiji/`
TMSレイヤ名です。
- `0/0/0.png`
`{Z}/{X}/{Y}.{EXT}` で、
Zはズーム値、
XとYはタイル番号、
EXTはタイル画像の拡張子があてはまります。

TMSデータ配信及び仕様

◎命名規則について

(1) データIDについて

TMSを識別できるユニークなIDを指定します。

(2) TMSバージョン名について

TMSバージョン名は、1.0.0から初めて、新しいリリースの度に1.0.1→1.0.2と番号を上げる事とします。

(但し、大きな変更の場合は1.0.2→1.1.0のように番号が飛ぶ事もあります。)

(3) TMSレイヤ名について

重ね合わせる地図レイヤを識別できるユニークな名前を指定します。

(4) Zoom値について

TMSの仕様上は必要条件ではありませんが、通常は $Z=0,1,2\cdots$ と増えるたびに画像全体のサイズが2倍されるようにしています。

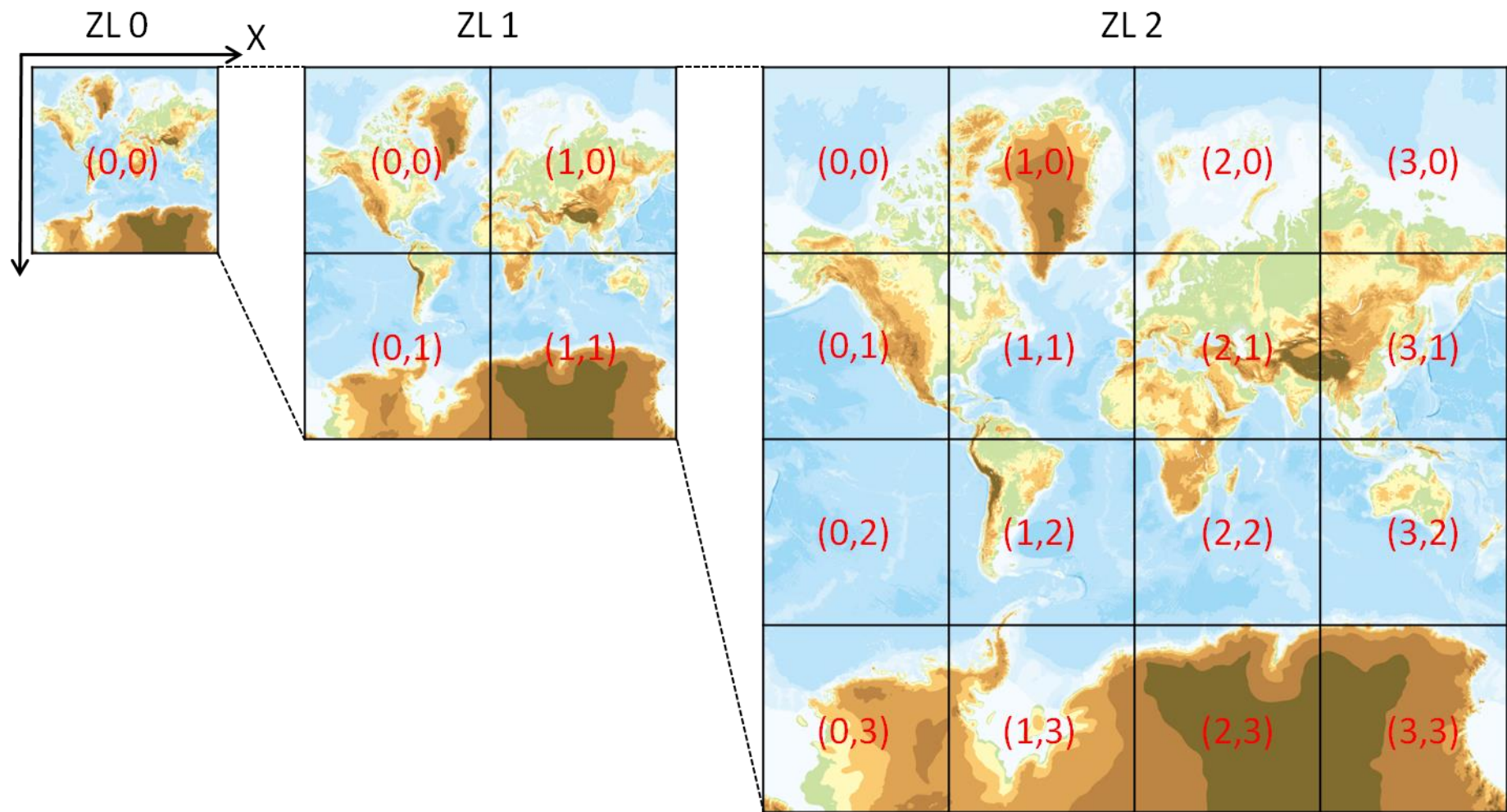
(5) タイツ番号の原点と順序について

Google Mapsのタイル番号仕様を基準とし、北西隅を(0,0)として東方向、南方向にX,Yが増加する事とします。

※詳細は次のページ[絵]を参照

TMSデータ配信及び仕様

◎命名規則について



※画像抜粋先「国土地理院」

TMSデータ配信及び仕様

◎タイル画像仕様について

タイルの画像は次のように作成します。

- ・画像サイズ(px) : 256 × 256
- ・画像形式 : png(推奨), jpg, gif等
※但し、画像形式はどれかに統一してください。

◎タイル画像作成について

代表的に以下のツールを利用し作成する事が可能です。

- ・ gdal2tiles : <http://www.gdla.org/>
無料だがコマンド入力など操作が複雑。また操作する為環境構築が必要。
- ・ MapTiler : <http://www.maptiler.org/>
無料版も提供しているが、MapTilerのウォーターマークが自動生成される事や機能も制限がある為、有料版を使用せざるを得ない。